

会議名		平成 28 年度公民館運営審議会(第 1 回)			
事務局		生涯学習課東地区文化センター			
開催日時		平成28年5月25日(水) 午前9時 30 分 ~ 正午			
開催場所		市役所5-2会議室			
出席者	委員	13名	欠席2名	その他	0名
	事務局	4名		傍聴者数	0名
公開の可否		可			
内 容		<p>出席者 座間市公民館担当 稲垣委員 吉泉委員、柳下委員、佐藤委員、鈴木委員 北地区文化センター担当 木村委員 赤木委員、天野委員、橋本委員 東地区文化センター担当 飯田委員、佐々木委員、大西委員、有山委員 職員 座間市公民館長 山頭 北地区文化センター館長 野口 東地区文化センター館長 植松</p> <p>1 あいさつ 生涯学習課長 浅野 寛 本年度から課長に就任しました。生涯学習の中で語られるようになった社会教育ですが、座間市の公民館は、地域の課題をとりあげ、先進の活躍をしています。公民館の事業がより良いものになるように、市民の声を館に届けていただきたい。よろしくお願いします。</p> <p>2 新委員・委員・職員の紹介 本年度は、任期改選に当たり、三館の学校長会推薦の委員(4条2項の1)委員の改選があった。 新任 座間市公民館担当 鈴木直人校長(立野台小学校) 北地区文化センター 橋本 武 校長(相模野小学校) 東地区文化センター 有山周一校長(東原小学校) 再任の委員、各館長と自己紹介を行った。 ※新任委員より、公運審の活動内容などについて事前に文書が欲しいという声があった。</p> <p>3 委員長・副委員長の選任について 委員長 稲垣文野さん(再任) 副委員長 木村由紀子さん(再任)</p> <p>4 議 題 1) 年間活動計画について 公民館運営審議は、各市、館を単位としていますが、公民館として県・国の各</p>			

教育行政との調整を行う上部組織があり、研修は県と県公民館連絡協議会の傘下で実施されます。当審議会は、公民館職員、館長、公運審委員研修会等に参加しています。

今年度、座間市として参加する研修は

① 第 38 回全国公民館研究集会神奈川大会・第 57 回関東甲信越静公民館研究大会 in さがみはら[平成 28 年 8 月 25 日(木)・26 日(金)会場:神奈川県相模原市相模女子大学グリーンホールほか]

② 県公民館長・運営審議会委員等研修会 平成 29 年 1 月 27 日  
会場:横須賀市本町コミュニティセンター

① について、二日間の参加確認をする。全員が参加予定。

② に関しては、要項が届いてから、出欠の確認を行います。

③ 全体の審議会

・実施予定回数 3 回程度。内容は、事業評価、各館事業計画への意見聴取、東地区文化センターからの意見具申「あすなろ大学の今後について」と、今年度は市の「公共施設利活用検討(委員会)」の内容に関わり、議題が加わる可能性があります。

④ 各館ごとでの招集

- ・利用者代表者会議(年 2 回)
- ・三館公民館での文化祭観覧
- ・各館事業評価に係る学級・講座への参加、合評会
- ・年間事業計画案への意見具申

質疑等

委員 新任として出席していますが、公民館運営審議会委員としてしなければならないことについて、最初にガイダンスをしていただけないか。

事務局 資料、ハンドブックなど 2 回目の会議に出せるようにします。今回は、議題 2) の各館の事業計画と併せて評価対象の検討をしていただくので、公民館がどのような事業をしているかをご理解いただける機会としていただきたい。

2) 各館の年間事業計画、事業評価について

事務局 任期が変わる年度には、新しい委員がおいでのため、委嘱式後、1 回目の会議で事業計画を説明していますが、時期的に事業がスタートして、事業評価が遅れてしまいます。昨年度の第 4 回で事業説明をしていることから、新委員の了解を得て、項目のみ読み上げて、3 館に分かれて事業評価対象事業についてご協議いただきたい。

各館で事業評価を選定する前に、2 年間事業評価をすすめてみて、評価そのものに関してご意見があればいただきます。

委員 事業評価の目的について、再度確認をしたい。評価を受けて、事業がどうなったかを聞かせて欲しい。事業を良くしていくためにという視点で評価す

るということで良いか。

事務局 事業評価の目的は、内容が市民のニーズに合っているか、マンネリ化していないか、発展性があるか、など、あくまで改良・改善を目的としています。その中で必要性が判断されることもあります。

座間市公民館：ふれあい自然科学クラブは、受講生のレポートが多いということ、観光がメインとなり、自然とふれあうということから遠ざかってしまっている。内容を見直しをした方が良く、2点の指摘を受け、先着順を抽選にし、もう一度原点に戻り、内容を受講生から企画に関わってもらうようにして、自然にふれあう講座を多くし、大きく改善することができました。

北地区 中学校から私学に通うことも多くなってきた青年層に、地域での交流を目的として「地域で友達をつくろう」という講座を企画した。20代を中心に募集したが思うように集まらなかったことと事業評価の結果を検討し、翌年「公民館に行ってみよう」という講座に変えた。20代～30代へ募集の枠を広げ、内容も単発講座に変えるなどした。今年度は若い親子に狙いを変えて、より幅広い層が公民館を利用してくれるようにしたい。

にほんご教室については、夜間に行う事業を見ていただくことができ有意義だったと思う。

東地区 わくわく科学教室は、市内の小学校の協力を得て行っていますが、講師の先生は増えているが、市外の小学校にも広がっています。さらに親子の日曜科学教室と継続的な関わりへと進んでいます。

サマーアイランドも、子どもの実行委員を充実して、子ども自身の運営をすすめています。向陽館高校のボランティア単位の対象に認めていただき、東中、南中には、クラブ活動単位への呼びかけしていただくなど、中高生の参加を増やしている。

委員 自分の担当する館の事業だけを評価してきたが、他の館の事業に関心を持って評価したい場合もある。

委員 同様に、三館で連携して実施している事業や、同じテーマ、内容の講座があり、並べて評価することで分かることがあるのではないかと。

事務局 3館の中で同じテーマ、課題で事業を行っているものもありますが、館の企画意図や地域性、受講生の特徴など、違いがあることも意識しながら、評価していただきたい。先のご提案は、選考対象を考えるとポイントに加えていただいてもよいと思います。

※各館の事業を紹介し、3館に分かれて評価対象事業を選考した。

各館の対象事業

座間市公民館 ①パソコン講座 ②パパと遊ぼう ③ブックトーク

	<p>以上から、次回館の公運審会議で二つに絞かを検討する。</p> <p>北地区文化センター ①フリースペース ②親子で趣味を広げよう 東地区文化センター ①パソコン講座 ②フリースペース</p> <p>3)図書館協議会委員の推薦について 前期委員の吉泉さんから活動の紹介をしていただく。</p> <p>委員 図書館協議会委員は図書館の運営や図書館の事業について、意見を求められたり、述べたりすることが仕事になります。年 4 回ほどの会議と、図書館の主催する「調べ学習」のコンクールで審査をします。</p> <p>事務局 公民館運営審議会から 1 名の委員の推薦をするようになっています。 継続して吉泉幸子委員を推薦することとなりました。</p> <p>4)その他 審議会委員の親睦会について 慶弔、歓送迎会などについて委員長から説明し、今期も前年度と同じように対応することとなった。</p> <p>次回の日程と概要 今回は各館での事業評価打ち合わせとなります。 全体での会議は、全国公民館研究大会神奈川集会前後を予定します。日程は、集会資料集が完成する 7 月上旬に委員長と協議させていただきます。</p>
--	--